

平成 28 年 2 月 15 日

各 位

株式会社 三井住友銀行

川崎汽船株式会社に「S M B C サステイナビリティ評価融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取：國部 毅）は、川崎汽船株式会社（代表取締役社長：村上 英三）に対し、「S M B C サステイナビリティ評価融資」を実施致しました。

「S M B C サステイナビリティ評価融資」は、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：瀧崎 正弘）が作成した独自の評価基準に基づき企業の ESG¹ 側面の情報開示とサステイナビリティ²への取組みなどを評価し、評価結果に応じた融資条件の設定を行うとともに、取組みや情報開示の適切さについての現状分析、今後の課題、課題への取組事例などを還元させていただく融資商品です。

今回の川崎汽船株式会社に対する評価結果は、「環境マネジメント」、「事業活動における環境負荷削減の取組み(気候変動)」、「ステークホルダーとのコミュニケーション」において非常に高い水準であると判断され、サステイナビリティに向けた企業経営において、大変優れた ESG 側面の取組と情報開示を実施されており、最上位の評価取得となりました。

特に ESG 側面の取組みでは、2050 年に向けた環境保全に関わる長期指針「“K”LINE 環境ビジョン 2050」を 2015 年 3 月に策定し、4 つの重要課題「海洋汚染・生態系」「エネルギー資源」「地球温暖化」「大気汚染」について意欲的な目標を設定するなど、中長期的な視点をもって目指すべき将来像を具体化されている点、環境データ集計システム「Eco Track」により事業活動に伴う主な環境負荷データを収集し、グループ全体での環境負荷の把握に努めておられるほか、Scope3 における CO2 排出量など、サプライチェーン上での環境負荷を把握し始めておられる点、CSR の重要課題である「安全運航」「環境保全」「人材育成」を中心としたテーマで、外部有識者を交えたステークホルダー・ダイアログを開催するなど、多様なステークホルダーとの双方向のコミュニケーションにより自社の活動を見直す機会を設けておられる点等が評価され、情報開示においても良好な開示がなされているとの評価となりました。

三井住友銀行では、「S M B C サステイナビリティ評価融資」により、企業のサステイナビリティへの取組みを、金融を通じて支援してまいります。



環境負荷の低減と省エネを実現する自動車船 Drive Green Highway



クリーンエネルギーの普及に貢献する LNG 輸送船 尾州丸

<ご参考>

1 ESGとは

ESGとは環境（Environmental）、社会（Social）、企業統治（Corporate Governance）の頭文字を取ったものです。いずれの側面も企業が事業活動を展開するにあたって配慮や責任を求められる重要課題として考えられています。

2 サステナビリティとは

サステナビリティ（sustainability）とは、「持続可能性」を意味する英語であり、地球社会から企業活動まで、様々な状況において使用される用語です。一般的に、企業のサステナビリティというとき、地球環境や社会の持続的な発展に貢献しつつ、その上で自社が社会に認められ長期的に繁栄するために不可欠な企業の取組を指します。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。